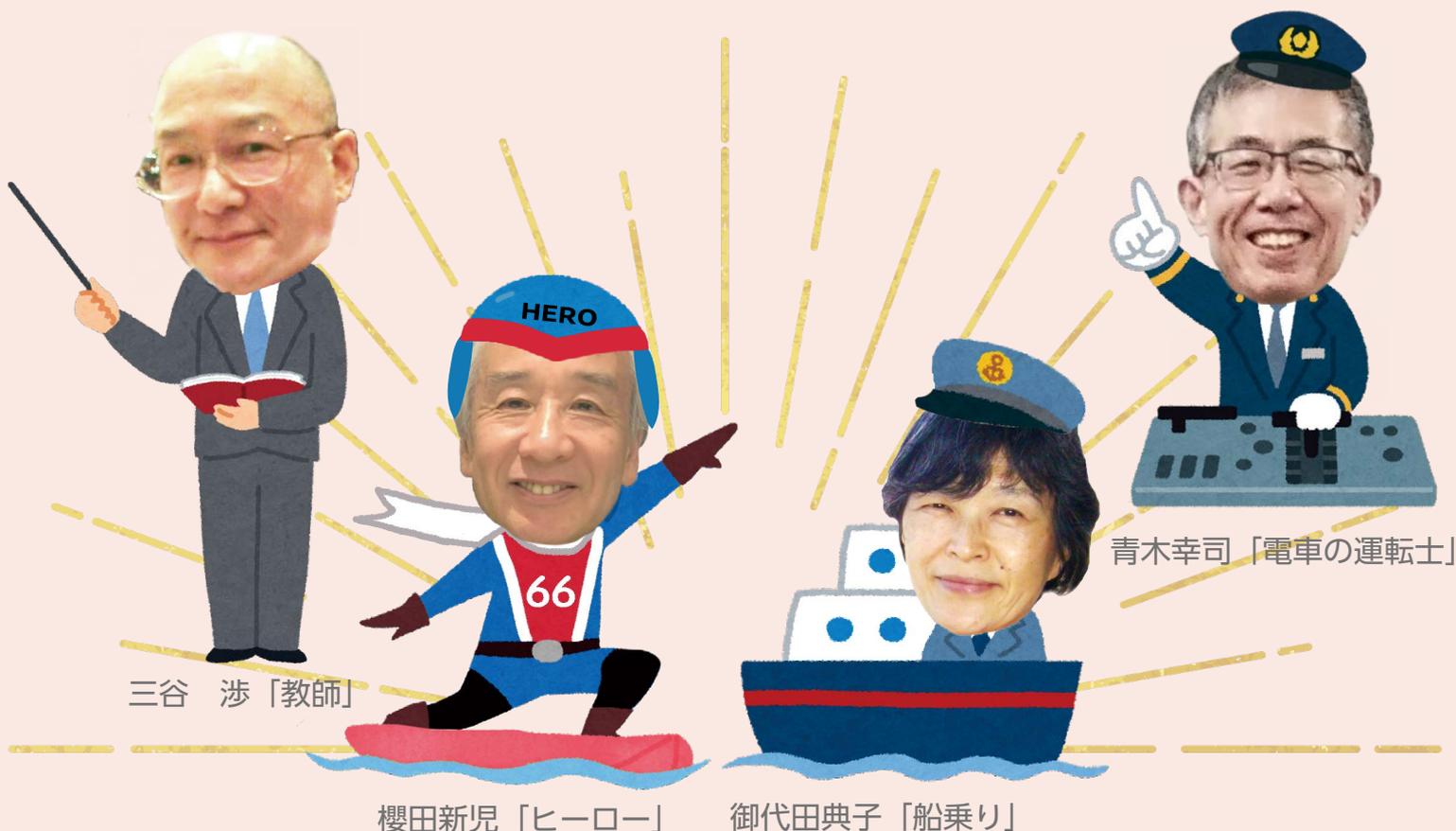


会員部
メンバーの

こどもの頃の夢

表紙特別企画！会員部メンバーの長年の夢が実現!?



会員の皆様との顔の見える関係作りとオンライン化の推進に力を尽くします。

新副支部長インタビュー 神奈川副支部長 伊藤とく美 石田知之

会員の皆様との顔の見える関係作りと

オンライン化の推進に力を尽くします

新副支部長インタビュー

神奈川副支部長

伊藤とく美
石田 知之

今回は、6月の支部総会で新たに就任された伊藤副支部長、石田副支部長にこれから副支部長として取り組んでいきたいことやご自身のことについて語っていただきました。

まずは、副支部長としての担当業務について、担当の事業部名、兼務の役職も含めてお願いします。

〈伊藤〉 副支部長として神奈川支部の運営にかかわっています。毎週三役打ち合わせ（支部長、副支部長、事務局長、総



インタビューの様子

務部長）で本部からの連絡や各事業部の状況、コロナ対策などを検討しています。地域連携委員長、事業戦略・広報委員会、講師カウンセラー推薦委員会、倫理委員会の委員もかねております。

〈石田〉 神奈川支部では事務局長、広報委員長、講師・カウンセラー推薦委員会副委員長等、本部では、講師育成委員会委員、キャリア模試等CC養成事業部プロジェクトメンバー等を担当しています。また、キャリア関連の講師は継続させていただいています。

副支部長に就任されて、はや半年近くが過ぎようとしています。今の神奈川支部について感じていることをお聞かせください。

〈伊藤〉 新型コロナ感染予防対策のオンライン化を他の支部に先駆けて行っており、受講者も何とか確保できている状況です。一県一支部ですので意識合わせがしやすく、皆様のご協力のおかげで事業

が円滑に行われていると思います。〈石田〉 当協会は全国組織ではありませんが、一般企業のように本部主導でがんばらめという感じではなく、柔軟な組織体として運営されている印象です。

支部では桐谷支部長の下で業務の合理化や効率化、業績の拡大に繋がると考えられる施策を積極的に取り入れています。特にオンライン講座開催を始めとするIT化への対応は、本部や他支部に先駆けて実施しており、パイロット的な存在となっておりますが、まだまだマンパワーは不足気味で会員の皆さまのサポートが必要だと実感しています。

今後、副支部長として取り組んでいきたいことについてお聞かせください。兼務されている地域連携委員長（あるいは事務局長）も含めてお願いします。

〈伊藤〉 支部の会員の皆様と顔の見える関係作りができたらと感じています。地

域連携委員会での社会貢献事業やカウンセリング力向上の勉強会や研修等で役割が果たせるとよいと考えます。〈石田〉 支部のマネジメント面では、組織の健全運営を目的とした神奈川支部の内部統制の仕組み作りや更なる業務効率化を推進していきたいと思っています。

また、本部主導で推進しているPマーク認証取得に向けた作業や協会が抱える課題を確実に取組んでいきたいと思っています。

子どもの頃や学生時代の思い出についてお聞かせください。

〈伊藤〉 長野の田舎で育ち、井の中の蛙でした。大学では近世文学に触れ、合気道に励みました。一方で学費工面と世の中の仕事体験を兼ねてさまざまなアルバイトに明け暮れました。終日計算する仕事、観光バスガイド、選挙のうぐいす嬢などを経験し職業適性についても考えました。

〈石田〉 幼少期から高校時代までは、シャイで自分の主張を全く言えませんでした。ただ、何故か新しいことにチャレンジした経験が結構あり、小学生時代に同級生2人でナイター観戦をしたり、自転車を作作して、奥多摩や伊豆半島一周をサイクリングしていました。ただ、勉強をあまり真剣にしなかったつけが、今の大きな後悔に結びついています。

今までの社会人経験で特に印象に残っている出来事をお話してください。

〈伊藤〉 校長と電話で話していて私が批判的な言葉を口にしたところ「バカ！」と電話を切られたことです。2日ぐらい頭の中で「バカ」がぐるぐるしていました。これはパワハラではないかと校内の「ヒヤリハット報告」にあげ周知しましたが反応はありませんでした。こういうことでもトラウマが起るといふ体験でした。

〈石田〉 キャリア形成は、良くも悪くも環境に大きく影響を受けてきたと実感しています。就労経験の36年間で親会社から出向してきた上司との7年間で親会社に印象に残っています。目が血走って怖い上司でしたが、部下の話をちゃんと聴き、人の能力を見抜き、部下を信頼して仕事を任せてくれました。今ではマネジメントスキルとして当たり前のことです。が、マネジメントの基礎を学べた7年間の経験は、大きな財産となっています。

なぜ、産業カウンセラーの資格を取ろうと思われたのか、そのきっかけについてお聞かせください。



留学生とディズニーランドに来た！

〈伊藤〉 外国人留學生の日本語教育と學生の進路・生活相談を担当しており、カウンセリングについてきちんと学びたいと思ったことがきっかけです。

〈石田〉 地方支店の支店長としてコミュニケーションを上手く取りたいと思い、傾聴という言葉に惹かれて受講しました。もし、東京でマネージャーとなっていたら、興味があったコーチング講座を受講していました。産業カウンセラーに導かれる運命だったようです。

趣味と休日の過ごし方についてお聞かせください。



私のところを眺めてみると...

〈伊藤〉 散歩としゃべりが好きです。いつもと違う道をぶらぶら歩きを楽しみます。道の草花を眺め、自然の美しさとたくましさを感じています。

〈石田〉 そう言えば、ここ数年間は、土日の講師、長期・短期間の講座受講、講座関連の資料作りをしていて、趣味と言われる活動をしていないことに気づきました。かろうじて、美味しい物を見つけて気の合う人と一緒に食べて楽しい時間を共有したり、ファン歴50年以上の横浜ベイスターズを応援することが趣味となっています。



GAP 認証農場で生産された食材



勝利に酔いしれる横浜スタジアム

最後に、神奈川支部の会員の方々へのメッセージをお願いします。

〈伊藤〉 カウンセリング力、カウンセリングマインドを職場や家族の中で生かしてほしいです。そのためにもカウンセリング能力の向上と資格を生かせる研鑽をお願いします。カウンセリングは体験を積むことが大切と考えます。身近なところで見つけたら研修に参加したりして機会を作っていたらいいと思います。

〈石田〉 副支部長（事務局長）は、神奈川支部のみならず協会全体の運営を良く

していく役割があると認識しています。そのためには、会員の皆さまの声を届けていくことが大切になると思っていますので、ぜひ、率直なご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

今後も会員一人一人の自己研鑽につながるような機会づくりと情報提供をお願いしたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

●石田副支部長プロフィール



経歴：大学卒業後リース会社に就職し36年間勤務。雇用延長を選択せず定年退職後、現在に至る。
経験分野：営業、与信審査業務、バックオフィス業務及びシステム開発、人材開発業務
保有資格：産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士、FP、ハラスメント防止コンサルタント等

●伊藤副支部長プロフィール



出身：長野県南佐久郡生まれ
経歴：大学卒業後、6年間は中・高校生の国語教育、外国人留學生の日本語教育・学生相談を30年ほど担当、支部の相談室カウンセラーや養成講座の実技指導などを現在まで担当。
保有資格：シニア産業カウンセラー、教育カウンセラー、公認心理師、SCT精研士、SNSカウンセラー

「傾聴講座」を開催しました

— 2021年9月5日に横浜市旭区で活躍中の民生委員15名の方々が参加 —



横浜市旭区社会福祉協議会様からのご依頼で、地域でご活躍の民生委員の方へ向けて傾聴講座を開催しました。参加された民生委員の方々は、総勢15名の内1/3が新任、男女比1:4、年齢層は中高年以上でした。

今回地域連携委員会では初めての試みとして、出張講師のオーディションをオンラインで行いました。メイン講師を茅根明弘さんをお願いし、ほか佐保宗伸さん、石田満恵さん、米倉雅実さんの3名にサブ講師としてご登壇いただきました。講座の内容としては、主催者からのご要望により、コロナ禍で受講者同士のワークが行えず、講師陣によるデモンストレーションを通じて、傾聴の方法などについて学んでいただきました。



講師の皆さん 左から：佐保さん、米倉さん、茅根さん、石田さん

参加者の方々の感想

「相手に共感し気持ちに寄り添えるよう、これから努めたい」

- 「傾聴」という言葉は聞いていましたが、何を意味しているのかはよくわかりませんでした。デモンストレーションで、相談ごとが聞き手の質問によってどんどん最初の質問から外れていく様子は、正直驚きました。民生委員としては、高齢者の方に相談相手として相手に共感し気持ちに寄り添えるよう、これから努めたいと思います。
- 私がこの講座のなかで、一番印象に残ったのは、「聞く側に心と時間の余裕があり、健康であることだ」と言われたことでした。「傾聴」は自分自身の心の余裕だと、気づかされました。せめて心に余裕のある自分でいたいと思いました。自分の生き方に参考になる講座でしたので、もっと聞きたかったです。
- 「傾聴」と言う事を漠然と理解していただけと気づかされました。常に焦りに追われていて、傾聴に必要な電池容量が足りていないようですので、問題点を少しずつ改善していこうと思いました。もしまた、講座のご縁があれば是非とも良い関係を築けるような初回の傾聴技法を勉強させて頂きたいと思います。この度はありがとうございました。
- 講師の方のお話を聞いて、傾聴する事は簡単のようで難しいんだと思いました。話し手を尊重する、私は話し手を尊重してるかな？ 気持ちを聴く、時間のゆとりをもって、話の腰を折ってはいないか等、振り返り考える機会を頂いたと思っております。この様な講座を開いて頂き、色々参考にさせていただきます。ありがとうございました。

講師の感想

「地域住民の声を聴く民生委員の仕事に傾聴とのつながりの深さを実感した」

- 資料作りに当たっては、参加される民生委員の方々の情報を事前に把握できたため、次のような工夫をしました。①大きな文字とイラストの多用②なるべく専門用語は使わない③1回は笑いをとる④デモンストレーションの挿入。①に関しては、会場側の機器との相性(?)のせいか、画面全体が小さくなったりレイアウトも一部崩れたりするなどのハプニングがありました。みなさん最後まで興味を持って聴いて下さいました。今回の講座が、少しでもお役に立つことができれば幸いです。(茅根明弘)
- 私のような駆け出し講師にとって貴重な経験になりました。また、今回の活動が広まることで、産業カウンセラー養成講座への関心にもつながるかと思っておりました。何より、傾聴の大切さに気付いていただけるこの活動が広がること、期待します。(佐保宗伸)
- 民生委員のお仕事の大半が、地域住民の声を聴くことであり、傾聴とのつながりの深さを実感すると共に、地域住民との人間関係を強固なものとする役割を担う、傾聴の重要性について改めて理解を深めることができました。(石田満恵)
- 今回研修に参加させていただき、話し方や速さ、間の取り方、雰囲気づくりなど講師として身に付けたいと思う多くの学びを得ました。ゆったりとした時間が流れ、自分が話に引き込まれていくのを感じました。(米倉雅実)



講師による傾聴デモンストレーション

第2回 会員部

会員部では、会員同士の交流の場、ネットワーク作りの場として、はまカフェ、交流会、月例会、特別講演会のイベントを開催すると共に、支部報「かもめ便り」の発行をミッションとしており、総勢5名で運営を行っています。

☑ 「はまカフェ」は年6回、オンラインで開催中です

「はまカフェ」は会員同士の情報交換会として、様々な会員の方々と気軽にお話しして興味や活動の場を広げるきっかけ作りとなるような場を提供しています。



Mr. AOKI くん



☑ 「神奈川支部交流会」を今年の3月から始めました（次回は来年3月に開催予定）

毎年3月に開催していた「受講者大会」に代わる「神奈川支部交流会」を新たに企画し、オンラインで開催しました。この1年間に産業カウンセラー養成講座、キャリアコンサルタント養成講習を修了した方に限定せずに、会員であればどなたでも参加できる、産業カウンセラー、キャリアコンサルタントのネットワーク作りの場を提供しています。来年3月に向けて、より多くの会員の方に満足していただける交流会を計画中です。

☑ 「産業看護職交流会」は今年の7月からオンラインで開催中です

今年度から業種別の交流会として、「産業看護職交流会」を立ち上げました。3カ月に1回のペースで開催中です。交流会では、日頃の仕事上の悩みなどの情報交換が活発に行われ、参加された方からは今後も継続して欲しいとの感想をいただいています。

☑ 様々なジャンルの講演が聴ける月例会、特別講演会を開催しています

産業カウンセリング分野にとどまらず、さまざまな分野で活躍中の講師の方をお招きして月例会を開催しています。また、支部総会が行われる毎年6月には「特別講演会」として開催しています。（なお、月例会については、再開に向けて準備を進めています）

☑ 支部からの情報発信の場である支部報「かもめ便り」は現在リニューアル中です

2カ月に1回、神奈川支部に関わる情報を発信しています。従来は紙面での発行でしたが、一昨年9月号より電子化され、HPでの閲覧となりました。3月に行いましたアンケートで会員の皆さまからいただいたご意見を踏まえて、来年度からのリニューアルに向けた新企画の検討を進めているところです。

CONTENTS

- 2 新副支部長インタビュー 神奈川副支部長 伊藤とく美 石田 知之
4 地域連携委員会活動報告
5 事業部紹介 第2回 会員部
6 スーパービジョン事例検討会参加のすすめ
編集後記

2021年11月
第48号(通算第94号)

かもめ便り

発行日：2021年11月15日発行

発行：一般社団法人日本産業カウンセラー協会 神奈川支部

〒231-0062 横浜市中区桜木町3丁目8横浜梅業ビル6F

TEL：045(264)9521 FAX：045(264)9013

E-mail：kanagawa@counselor-k.jp URL：http://www.kanagawa-c.jp

企画・編集：会員部支部報グループ

取材編集協力：株式会社協進印刷

スーパービジョン 事例検討会参加のすすめ

神奈川支部は産業カウンセラー資格取得後のスキルアップを強く支援します。積極的にご参加ください。

こんなことはありませんか？

このあと
どう支援すれば…



うまく支援が
できなかった…



自分もモヤモヤ
してきた…



スーパービジョン・事例検討会 に参加でスキルアップ↑

支援のイメージ
がわいた！



経験を活かして
スキルアップ！



自己理解が進んで
スッキリ！



スーパービジョンを受けたことがあるカウンセラーの感想や
神奈川支部のスーパーバイザーのご紹介動画を
支部HPからご覧いただけます。ぜひご覧ください！

<http://kanagawa-c.jp/publics/index/578/>

編集後記

11月号の表紙は「会員部メンバーの子供のころの夢」というテーマで、会員部員の方に子供のころを振り返ってもらいました。私は「電車の運転士」でした。そう言えば、電車に乗る時は一番前の車両で、運転席の後ろに張り付いていたのを思い出しました。すっかり忘れていましたが、子供のころはこんなことを思っていたのかと気づきました。他のメンバーからも、「なんだか思い出して楽しくなってきました」との感想もありました。皆さんも改めて子供のころを振り返ってみるのはいかがでしょうか。

9月号に引き続き、地域連携委員会の活動状況を報告しました。今回は民生委員の方を対象とした「傾聴講座」でした。参加者の皆さんは日ごろ地域の中で様々な相談に乗っておられ、今回の「傾聴講座」を通じて、今後は「傾聴」を意識した相談に取り組んでいきたいという思いが感想からも窺えました。まさに「傾聴」を通じて、地域社会との連携が図れたのではないのでしょうか。

かもめ便りのアンケートでは、会員の方から支部でどのような活動が行われているか知りたいという意見がありました。これを踏まえて、9月号より各事業部の紹介と運営幹部のインタビューを始めております。今後、皆さまからいただいたご意見を少しずつ反映しながら、かもめ便りのリニューアルに取り組んでいきます。

(青木幸司)